

様式（評価結果の公表）

評価結果調書

1 対象事業の特定

項目	内容
事業名	下水道管路施設維持管理等業務
担当部署	下水道部 管路保全室
事業目的	吹田市内の下水道管路は老朽化が進んでおり、今後も増加し続けることから、下水道部ではストックマネジメント実施方針による「予防保全型」の維持管理へシフトし、老朽化対策を進めています。増加する老朽化対策の業務を円滑に実施する体制の構築が目的です。
事業内容	上述の目的を達成するため、下水道管路施設維持管理等業務として、下水道管路施設における包括的民間委託を導入します。
採用手法	下水道管路施設の包括的民間委託（PPP手法）

2 評価結果

<p>(1) 詳細な検討における評価</p> <ul style="list-style-type: none">・比較した事業方式：従来型手法と包括的民間委託・事業範囲：①住民対応業務 ②維持管理業務 ③老朽化対策業務・事業期間：3年間 <p>(2) 下水道管路施設の包括的民間委託（PPP手法）の選定理由</p> <p>ア 業務体制面の効果</p> <p>本業務の導入により、担当職員が直接対応してきた市民要望に対する「要望受付」や「現地確認」は、受注者が実施することから、職員の対応件数は、ほぼゼロとなります。したがって、それらを担当する職員1名を増加する老朽化対策の担当へと充てることが可能となります。</p> <p>イ 経済面の効果</p> <p>本業務の導入により、VFM約15%の効果があります。</p> <p>ウ その他の効果</p> <p>その他の効果として、受注者が、市民からの要望の受付、現地確認及び要望の解消（緊急清掃によるつまり解消）を一貫して行うことから、要望に対するワンストップ化が図られ、住民サービスの向上に繋がります。</p>
--